

## 業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

\* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

### 安井 美鈴 (やすい みすず) [言語聴覚学科 准教授]

#### 2023年

##### 9. 学会発表

- ・松坂勇樹, 高島遼一, 安井美鈴, 滝口哲也. 吃音者の音声認識における連発ラベル導入による連発箇所の検出. 一般社団法人日本音響学会第150回(2023年秋期)研究発表会. 名古屋市. 2023年9月
- ・安井美鈴, 滝口哲也. 吃音のある人の代替手段における自己合成音声使用の有用性について. 日本吃音・流暢性障害学会第11回大会. 茨城県つくば市. 2023年10月

##### 10. 講義・講演

- ・安井美鈴. 吃音症と合理的配慮. 吃音のある中高生の集い実行委員会主催. 京都市. 2023年4月
- ・安井美鈴. 第1回吃音症について. 宝塚市教育委員会学校教育課主催. 宝塚市. 2023年7月
- ・安井美鈴. 第2回吃音症について. 宝塚市教育委員会学校教育課主催. 宝塚市. 2023年8月
- ・安井美鈴. 第1回若年性認知症「前頭側頭型認知症を中心に」. REジョブ主催. 大阪市. 2023年10月
- ・安井美鈴. 第2回若年性認知症「前頭側頭型認知症を中心に」. REジョブ主催. 大阪市. 2023年11月
- ・安井美鈴. 「幼児期から成人期における継続的な吃音支援に向けて～大阪府地域ネットワーク構築に向けた取り組み～」. 令和5年度学術研究懇談会. 摂津市. 2023年12月

##### 12. 公的活動

- ・日本老年行動科学会常任理事
- ・日本吃音・流暢性障害学会事務局委員
- ・立命館大学客員研究員
- ・一般社団法人大阪府言語聴覚士会理事
- ・一般社団法人日本言語聴覚士協会代議員
- ・一般社団法人大阪府言語聴覚士会業務安全検討委員会委員長
- ・2023年度厚生労働省アドバイザー

#### 2022年

##### 9. 学会発表

- ・阪本浩一, 安井美鈴. 阪公立大学耳鼻咽喉科における吃音に対する手帳取得の現状. 日本吃音・流暢性障害学会第10回大会. 栃木県大田原市. 2022年9月
- ・安井美鈴, 阪本浩一. 大阪府府下医療機関における吃音臨床実態調査～吃音症支援地域ネットワーク構築に向けて～. 第67回日本音声言語医学会総会・学術講演会. 京都市. 2022年11月

##### 10. 講義・講演

- ・安井美鈴. 吃音症と合理的配慮. 吃音のある中高生の集い実行委員会主催. 京都市. 2022年4月
- ・安井美鈴, 春井竜太. 言語聴覚士と吃音症について. おおさか結言友会主催. 伊丹市. 2022年7月

##### 12. 公的活動

- ・日本老年行動科学会理事
- ・日本吃音・流暢性障害学会事務局委員
- ・立命館大学客員研究員
- ・一般社団法人大阪府言語聴覚士会理事
- ・第4回大阪府言語聴覚学会事務局員
- ・大阪府言語聴覚士会業務安全検討委員会委員長
- ・2022年度厚生労働省アドバイザー

## 2021年

### 10. 講義・講演

- ・安井美鈴, 春井竜太. 言語聴覚士と吃音症について. おおさか結言友会主催. 伊丹市. 2021年12月

### 12. 公的活動

- ・日本老年行動科学会評議員
- ・日本吃音・流暢性障害学会事務局委員
- ・立命館大学客員研究員
- ・一般社団法人大阪府言語聴覚士会理事
- ・第4回大阪府言語聴覚学会事務局員
- ・大阪府言語聴覚士会業務安全検討委員会委員長
- ・2021年度厚生労働省アドバイザー

### 13. 研究助成採択

研究者	研究題目	助成金額 (万円)
保健医療学部 言語聴覚学科 安井 美鈴	若年性認知症当事者及び家族の居場所づくり ～当事者と参加学生の視点から～	1.8
	概 要	
<p>2021年度7月より北摂地域在住の若年性認知症当事者や家族の情報交換や居場所づくり等を目的とした交流の場を学内に設定し、設定した交流活動が若年性認知症当事者の疾患への認識や障害受容への促進や家族の介護負担軽減につながるかどうか検討を行っている。この会の運営に参加している保健医療学部言語聴覚学科並びに人間科学部社会福祉学科及び医療福祉学科介護福祉専攻在籍学生が若年性認知症への知識や当事者とその家族へ対応等の理解につながるか、また、互いの職制への理解につながるかどうか、検討を行っている。</p> <p>検討方法は、毎回の交流会終了後、参加当事者並びに参加学生に参加後の感想等の質問紙法によるアンケート調査を行っている。</p> <p>年度終了時に、参加当事者、家族、学生へ質問紙法によるアンケート調査を行い、若年性認知症当事者の疾患への認識や障害受容への促進や家族の介護負担軽減につながったか、また、若年性認知症への知識や当事者とその家族へ対応等の理解につながるか、また、互いの職制への理解につながるかどうか、検討を行う。</p>		